

S H I Z U O K A
SHIJKYO

しずおか建築士事務所協会ニュース

News

2025.7
no.190

新連載『Shizuoka会員PORTFOLIO』



一般社団法人静岡県建築士事務所協会
Shizuoka Association of Architectural Firms

完全WEB版になりました!

HPよりデジタルブックをご覧ください。
<https://www.shijikyo.or.jp/shijikyo/>





会長 金丸 智昭

(株)金丸建築設計事務所一級建築士事務所

日頃より当協会の活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。本年も微力ではございますが、皆様に必要とされ、活気のある建築士事務所協会にしていきたいと思っておりますので、どうぞ皆様ご協力よろしくお願いたします。

今物価高が叫ばれている昨今ですが、建築を取り巻く社会環境は年々厳しさを増しております。資材の高騰や材料の納入時期の遅れのほか、現場監督や職人の人材不足、そして働き方改革による4週8閉所の実施により、着工の遅れや工期の延長などの問題が発生しております。これらは今後も続いていくと思われま。またそれに伴って建築価格も高騰し、ここ数年間で1.5倍から2.0倍上がったとも言われており、今後も工事費は高騰が続くと予想されております。

と同時に、設計業界では建築計画の見直しによって、設計の中止や変更が皆様のまわりでも度々起きているのではないのでしょうか。このような環境の中でどうしたら効率良く高い品質を確保し、お客様に満足していただける設計が提供できるかを協会として取り組み、会員の皆様に情報や技術を提供してまいります。

また BIM や AI など新たな技術や知識を採り入れることは大事であると同時に、設計はお客様や工事関係者、行政など様々な人々と関わりながら創り上げられます。そして良好なコミュニケーションや信頼関係を築くことによって、良い建築が生まれるのだと思います。そのためにも、会員の皆様に必要とされる情報や技術を提供し、設計監理に活かしていただけるように協会の活動を精力的に進めてまいります。

さて当協会では、災害時における行政支援と専門的な技術提供を目的として、数年前より静岡県内の自治体と、災害に関する協定の締結を進めております。静岡県教育委員会と最初に協定を結んで以降、現在6つの自治体と協定の締結をしており、その他いくつかの自治体と締結の準備に入っております。これは災害が近年多様化してきており、各自治体はスピーディーな対応を求められる事から、我々の設計技術や知識を、いち早く提供できるようにするものであります。今後も引き続き、県内すべての自治体に協定の締結を働きかけ、災害時だけでなく当協会との信頼関係をますます築いていきたいと思っております。

また近年、我々が設計を進めるうえで、建築に求められることが時代とともに変化してきております。1つ目は住宅を含めた省エネ適判の義務化、2つ目は非住宅の木造建築物への設計対応、3つ目は BIM を用いての設計対応があげられます。今年度より省エネ適判の義務化が始まりましたが、当協会ではこの法改正に対応するため、数年前より省エネ計算技術者養成を進めてまいりました。そして設計事務所への技術サポートとして、省エネ計算を請け負う体制を整え、4月よりスタートいたしました。これは協会会員のみでなく、県内すべての設計事務所に技術サポートが出来るように考えておりますので、よろしくお願いたします。

このように、会員の皆様に必要な知識や技術を提供できる体制をさらに充実させていきますが、今後は技術サポートだけでなく経営サポートも提供できるような協会にしていきたいと思っております。今後とも皆様のご理解・ご協力をよろしくお願申し上げます。

S H I Z U O K A
SHIJKYO

しずおか建築士事務所協会ニュース

News

2025.7
no.190

特集

02 新年度のご挨拶

05 令和7年度 定時総会

08 Shizuoka 会員 PORTFOLIO

12 jobstyle

16 支部だより

19 お知らせ

20 編集後記



副会長 立道浩幸

(株)蒼設計

担当役員／
総務・財務 広報・渉外 指導運営

副会長 4年目となりますが本年度もよろしくお願ひいたします。副会長という立場で3年間携わらせていただきました。

今まで以上に多くの会員の皆様と関わることが出来ました。また、全国大会・東海北陸ブロック・日事連等多くの行事や対外的な活動につきましても積極的に参加しました。

本年度は、より積極的に参加を促しそれぞれの委員会や各支部が昨年度以上に活発に活動し交流を深めあえる環境づくりをサポートして行きたいと考えます。参加しやすい協会、参加したくなる協会となれるよう、会員の満足度を上げるためにはどうすればいいのか、会員が何を求めているのか、協会として何をしなければならぬのか、何ができるのか等、様々な活動を通して抽出し、会員のニーズにこたえられるような会としたいと思います。

建築業界においても大きな転換期を迎えているかと思ひます。先を見据えた運営ができるよう努力していきたいです。会員の皆様にはご協力いただくこともあろうかと思ひますが、よろしくお願ひ申し上げます。



副会長 鳥居久保

企業組合針谷建築事務所

担当役員／
建築文化 地域交流

令和7年5月28日に開催された令和7年度の(一社)静岡県建築士事務所協会の総会では、会員事務所並びに協力会員の皆さんの尽力のもとに承認を頂き、誠にありがとうございました。

今年度も士事協は会員事務所への技術的情報の提供や社会の動きに応じた事務所運営の実践等を講習会、研修会を通して、指導、研究、提案していきます。そうする事で建築生産の在り方が変化した現代において、地域性に立脚した良質な建築の実現に向けて協会としてもその歩みを担保していくものであります。

具体的には2050年のカーボンニュートラル社会実現に当たりCO₂ストックのための木材利用増進の提案や、省エネ性能の向上のための建築物の新たな進化への提案は、社会の信頼の名の下に設計事務所がその責務として取り組んでいくものです。また現代の象徴的現象として空き家の問題があります。戦後ものすごいスピードで建築を生産し続けた結果、出現した空き家の総数は令和6年で900万戸に及ぶと言ひます。この「空間資源」の膨大な量は、新築設計に匹敵する使い道のさらなる提案がなされなければ、おそらく大きな損失となって地域社会を圧迫することになるでしょう。これこそ設計に従事する者がその職能として創造性を発揮する、現代的テーマといえます。

このような社会課題に対して静岡県建築士事務所協会は、行政との縦の関係性と設計事務所間の横の関係性を織りなしてその解決を果たしていくこととなります。今年度も多くの活動を中心に社会に貢献できる建築職能団体としてプレゼンスを発揮していきますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



副会長 藤原龍美

(株)ヴァイスプランニング
一級建築士設計事務所

担当役員／
教育・情報 業務 技術

令和7年度総会も終わりやれやれするとともに、皆様には大変お世話になりました。

今年度も副会長として引きつづき努めていきますので、よろしくお願ひ致します。

さて昨今の建築設計業界も法律、環境、デジタル化等目まぐるしく成長変化して、追いついていくことが大変な時代になりました。日々の設計活動を通して益々強く感じてきています。

そんな中私たちがとるべき対応はどうしたらいいのかを考へる必要があります。

それには(一社)静岡県建築士事務所協会の倫理規定の制定を今一度思い出し考へて、またそれを実行していく必要があると思ひます。

それは、「経済社会の変化に伴い、建築生産の在り方も大きな変革期にさしかかっている。

一方過去の大震災では多くの建物が倒壊し、建築設計、工事監理、施工に対する問題点や課題を与えていることから、建築の安全性を確保し、人々の生命、健康、財産を守ることが重要な課題となっている。このような社会背景の中で、社会の理解と信頼を得るために、建築士事務所が行う業務への真摯な努力と倫理に基づいた行動と常識の高揚に努めることを再確認する必要がある。」

以上のことを踏まえながら、副会長として私が担当している教育情報委員会、業務委員会、技術委員会の三委員会の委員長さんにはこれからも益々精力的に委員会活動を行ってほしいと思ひています。

委員会メンバーは委員長さんの考へをよく理解していただき本当によくやって頂ひています。本当に皆様ありがとうございます。これからもよろしくお願ひ致します。

できるかぎり講習会等勉強会、各種事業をおこない、知識、情報を皆様を広げていく様にさらに努力していくことが大切だと感じて頂ひます。

今後とも金丸会長と共に建築士事務所協会の活動を支え、会員の為に魅力ある協会となるべく引き続き活動をしてまいりますのでよろしくお願ひいたします。



専務理事 荻野泰用

(一社)静岡県建築士事務所協会
事務局

近年、気になっている2点の事柄についてご紹介します。
1点目は、非木造建築物の耐震診断について頻繁に問合せがあります。
能登半島地震以降、個人の関心は高まってきていますが、非木造の耐震対策の補助金が少ないため、この分野の耐震対策がまったく進んでいません。建築物耐震化の次のステップとして、小規模非木造建築物の耐震対策に対する助成を高めていかないと、民間の非木造建築物の耐

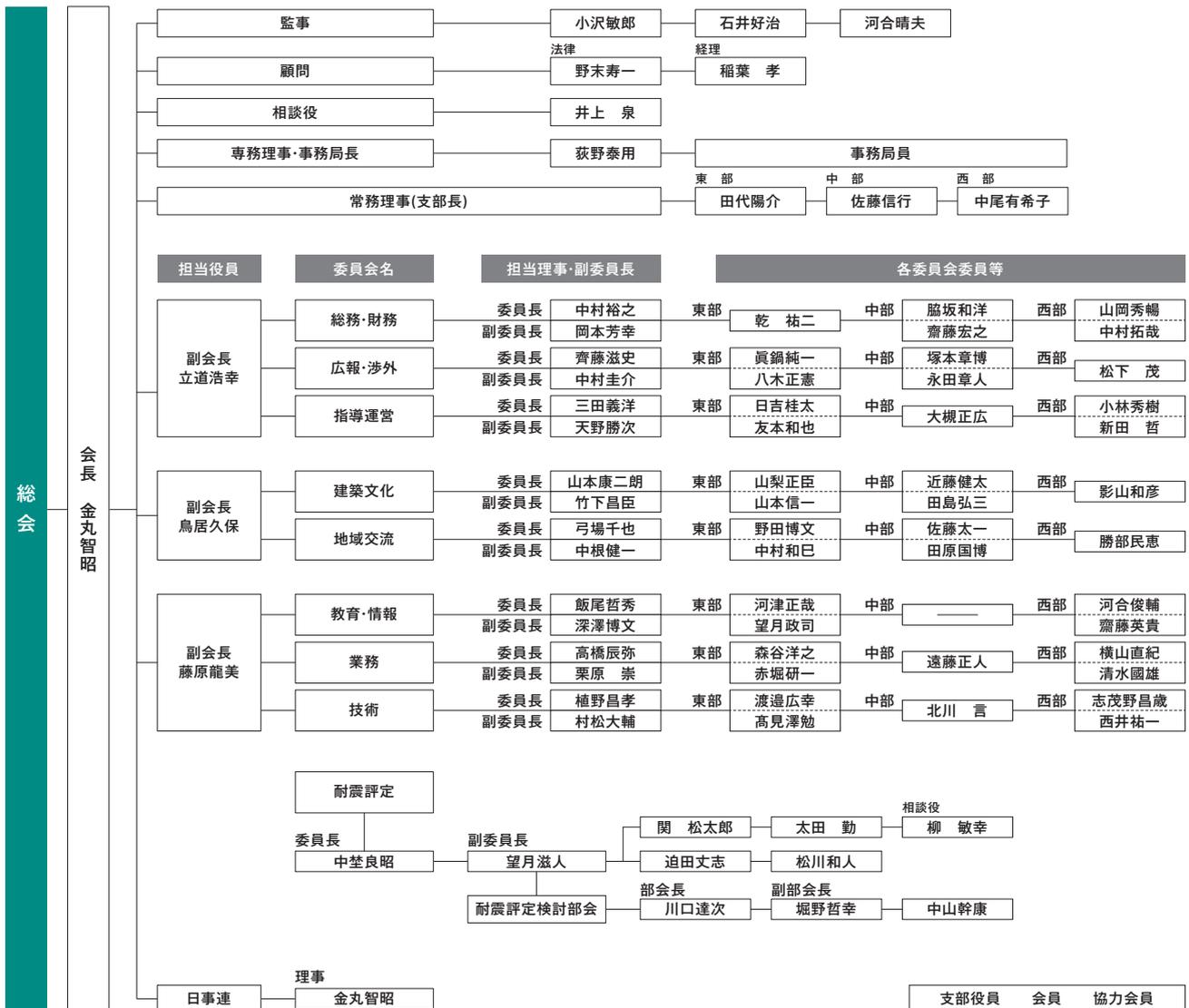
震対策は全く進んでいかないと感じる今日この頃です。

2点目は、台風の大型化や多発する線状降水帯の影響で、風水害による災害が多く発生しており、毎年、夏が早く終わってほしいと思っています。大きな災害が発生すると各自治体では、被災者からの被害相談や復旧に向けての工事の準備など多岐に渡り、技術職員が少ない自治体では途方に暮れる状況に陥る市町も出てきます。

当協会では、地震だけでなく自然災害も想定して、自治体との災害に関する協定を締結しており、今後も締結する自治体が増えていく状況にあります。非常時において、建築士という職能を如何に有効的発揮できるか、業務としても貢献することができ、建築士事務所として新たなビジネスチャンスにつながる可能性を秘めています。

事務局一同、会員の皆様方と切磋琢磨しながら、当協会の活動を更に盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

令和7年度 役員・委員会組織表 (令和7年6月2日)





こちらのマークをクリックすると
動画をご視聴できます。



令和7年度定時総会が、去る5月28日(水) 静岡市の「ホテル アソシア静岡3階 駿府Ⅱの間」において開催されました。例年同様、会場はほぼ満席となり盛大に開催する事ができました。

総会の定足数は出席の正会員 65 事務所、書面表決 219 事務所、合計 284 事務所が出席とみなされ、過半数を充足しており総会が成立し審議に入りました。藤原議長により議事が進行され、原案どおり成立されましたことを会員の皆様にご報告申し上げます。

議事終了後、令和6年4月から令和7年4月までに入会された正会員 9 事務所、協力会員 11 社を紹介し、総会に出席された4名の方々からご挨拶いただきました。

また、今回も継続して、令和4年度から取り組まれています「会員拡大の協力」につきまして金丸会長より報告いただき、代表して西部支部の「株式会社山岡一級建築設計室 山岡様」が表彰されました。

休憩を挟み、来賓をお迎えした第2部では、金丸会長よりご挨拶をいただき、最後に「黄綬褒章」の受章のお礼がありま

した。続いて来賓の中から、静岡県議会 危機管理くらし環境委員会委員長の伊丹雅治様をはじめ、静岡県くらし環境部長の縣茂樹様、静岡市都市局 建築統括監 建築部長の中川将巳様からご祝辞を頂戴しました。また、衆議院議員の上川陽子様、伊林辰徳様、深澤陽一様よりお祝いのメッセージを頂き、それぞれの秘書の方々から、皆様にご紹介させていただきました。

更に本年度は、県知事表彰が 鳥居久保様、立道浩幸様、中尾有希子様の3名に授与されました。縣茂樹様より表彰状が伝達され、その栄誉を讃えられました。

定時総会後には田代常務理事の司会のもと、懇親会が盛大に開催されました。その中で、省エネ計算業務開始 及び会員拡大PR動画の紹介に加え、東部・中部・西部の各協力会の会長から挨拶をいただきました。ご参加いただいた皆様により情報交換や交流を深められた大変楽しい会となり、佐藤常務理事の締めめの挨拶により無事終了致しました。

今後も会員の皆様には、静岡県建築士事務所協会の運営につきまして、益々のご理解ご協力を宜しくお願い致します。

総務・財務委員長 中村裕之



会長挨拶 金丸会長



議長 藤原副会長



司会 中村総務・財務委員長



会場の様子



来賓の皆様



受付



開会のことば 鳥居副会長



役員席



建築士事務所憲章唱和



知事表彰授与 静岡県くらし環境部長 縣茂樹様



知事褒賞 鳥居久保様・立道浩幸様・中尾有希子様



審議状況



監査報告 小沢監事



来賓紹介 佐藤常務理事



来賓祝辞 静岡県議会危機管理くらし環境委員会委員長 伊丹雅治様

有限会社 ナップ建築設計室

〒431-0103 静岡県浜松市中央区雄踏二丁目24番30号
TEL053-596-5181 FAX596-5182
<http://www.nap-nap.co.jp>



セメント・生コン・上下水道資材・外壁・基礎工事・携帯電話販売



ヒタ株式会社

代表取締役社長 肥田 隆輔

本社 静岡市葵区柚木570番地 TEL (054) 265-2222(代) 浜松支店 浜松市中央区石原町270-1 TEL (053) 426-5060
富士支店 富士市前田133番地 TEL (0545) 64-0100 名古屋支店 名古屋市中村区則武1-9-9 TEL (052) 459-1360
掛川支店 掛川市中3146番地 TEL (0537) 74-3919 側島第二ノリタケビル2F21号室



乾杯



楽しく乾杯



協力会 会長挨拶



皆で飲むのは最高に楽しい



真剣に貴重な意見交換も



事務局の皆さん お疲れ様でした



懇親会恒例の集合写真

GLOBEで実現する建築設計・施工現場の生産性向上!!

BIM図面審査
対応!

現場の
デジタル化
徹底支援!

**施工現場での活用 に特化した
施工専用BIM!**

- 仮設計画
- 土工計画
- 躯体計画
- 工程計画
- 型枠・支保工計画
- 重機配置計画
- 点群アシスト

施工 BIM BIM施工支援システム【グローブ コンストラクション】

GLOBE Construction

**日本の法規と作図スタイルに
最適化された設計用BIM**

- 建築基準法
- 確認申請
- プレゼン
- BIM-FM
- データ連携
- 点群アシスト

設計 BIM BIM建築設計支援システム【グローブ アーキテクト】

GLOBE Architect

デバイスを選ばない
WEBブラウザ対応のビューワー

GLOBE WebViewer

BIMモデルが
スマホで見えます

福井コンピュータアーキテクト株式会社
本社 / 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6
〔福井コンピュータグループ総合案内〕 ☎ 0570-039-291

**無料体験版
あります!**

- 体験版DL
- 製品情報
- 導入事例
- イベント情報

お問合せはWEBでお気軽に!

<https://archi.fukuicompu.co.jp/>

株式会社金丸建築設計事務所 新社屋



外観フォルム 東面ファサード

令和7年1月に竣工を迎えました株式会社金丸建築設計事務所様の新社屋を視察させて頂き、金丸智昭所長と設計担当の金丸巖太氏にお話を伺いました。

新社屋は既存社屋の北側隣地に新設されており、構造規模は木造平屋建て延床面積158㎡で、積極的な木材利用と『ZEB』による環境配慮型の設計となっています。

この施設を計画するにあたり、国からの木造を推進する動きの中で「JAS構造材実証支援事業」「しずおか木使い施設推進事業」「静岡ぬくもりの空間推進事業」などの各補助金を有効に活用し建設コストダウンを図られております。

木造大スパンにおいて、従来の集成材大断面材を用いるのではなく、三寸五分角材により梁を構築する工法や、これにより構成された井桁形状の小屋組みを意匠的に見せるなど意匠的工夫も随所に見られます。

『Shizuoka会員PORTFOLIO』新連載開始と作品募集のご案内

『士事協ニュース』では、現在『JOB STYLE』にて、会員事務所の紹介をさせて頂いてますが、この度、会員の建築作品にFocusした新連載『Shizuoka会員PORTFOLIO』（ポートフォリオ:建築作品）を開始させて頂きます。第1回は、1月に竣工された『株式会社 金丸建築設計事務所 新社屋』です。

『正会員が業として設計・竣工した、技術的特徴を持つ建物・都市計画・街づくり』を募集して、私達広報・渉外委員会による取材・対談等を行いながら、記事を作成・掲載させて頂きたいと思っております。

応募
問合せ

(一社)静岡県建築士事務所協会 電話:054-255-8931 メール:shijikyo@mail.wbs.ne.jp
事務所名・担当者名・電話番号・作品施設名・竣工年月をお知らせください。
折返し、当委員会よりご連絡をさせていただきます。

御協力頂ける自慢の建築作品が有りましたら、是非お気軽にお問合せをお願い致します。

広報・渉外委員会 委員長 齊藤滋史

Architect Design Association
株式会社 金丸建築設計事務所

代表取締役 金丸 智昭

〒421-0103 静岡市駿河区丸子1丁目3番4号

TEL : 054-256-6700 FAX : 054-256-6695

URL : <https://www.kanamaru.net/>



新社屋内観イメージ

■環境配慮型建築物

本社社屋の設計コンセプトや重点を置いた点は環境配慮であり、県産無垢材利用の木造にしたことと、一次エネルギー消費量削減に取り組んでいました。

建築物のライフサイクルにおけるCO2削減(ライフサイクルカーボン)において、木材は生産段階での排出CO2は実質マイナスになり、さらに県産材を使うことにより輸送エネルギーもごくわずかになり、材料の調達段階では最も環境に配慮することができています。

一次エネルギー削減量については設計段階のBEIは-0.09であり、創エネとの差し引きで一次エネルギー消費量がマイナスになる『ZEB』でBELSの第三者認証を取得されていました。

東面からは昼光を建物いっぱいに取り込んで明るい室内とし、夏季日射熱負荷が高い西側には開口部を設けず安定した室内温熱環境になる平面計画、断熱材の入れ方や材料選定の工夫などのパッシブ計画と、適切な空調、換気方法の選定などのアクティブ計画のバランスが整っていました。

汎用技術を多用することにより、体感して効果的だった技術を今後の設計に活かすこともできるとのことです。

運用面では、取材中にもスマートフォンで電気の消費量を確認できるなど、エネルギーの見える化に取り組んでおられ、エネルギーの状況を把握することにより運用改善が可能になるとのことです。まだデータの蓄積が少ない段階ですが、取材中にスマートフォンで見られた一日の消費電力は少なく、運用面での『ZEB』が期待できます。



ミーティングルーム



多機能廊下



打ち合わせ室



ギャラリー



鋼構造物工事業

国土交通大臣認定Hグレード

株式会社 松尾鉄工所

代表取締役社長 松尾卓明

〒421-0106 静岡市駿河区北丸子1丁目6番50号
TEL (054) 259-6564 FAX (054) 259-8026

■快適な室内環境

設計当初のコンセプトのひとつ、明るい室内は昼光を取り込むことにより実現されていました。取材日はあいにくの雨でしたが、明るい色のオフィスファニチャーとの組み合わせで明るさを感じました。

オフィスの照明は時間帯で色温度や照度を調整し、疲れなくて居心地がいい明るさを選択しながら作業を行っていました。

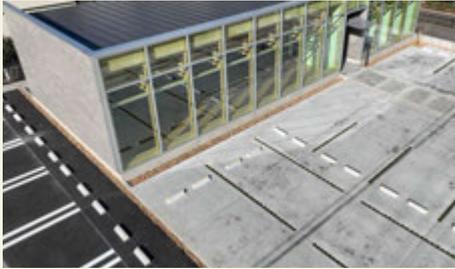
天井面は大スパン木造梁の架け方を工夫して圧迫感が無い梁が室内空間を演出し、天井材と断熱材の入れ方の工夫で天井高さを高くすることができ開放的な空間になっています。

エントランス正面は環境配慮を象徴する壁面緑化が事務所名をとり囲み、環境に配慮されたことを象徴していました。



設計室 入口付近

■スラグの利用



鳥瞰

駐車場の舗装は、骨材に銅スラグを使用されていました。

一般的にスラグは産業廃棄物として扱われますが、リサイクルすることで地球環境への負担を低減します。

スラグの中でも銅スラグの利用は環境と健康に与えるリスクが低いと言われ、昨今では建築材料に使用することができるようになったとのこと。コンクリート舗装に銅スラグを骨材として利用するとクラックが起きにくいなど、意匠的なメリットも大きいとのこと。

この度はご多忙の中、金丸智昭会長には新社屋取材をご快諾賜り、心より感謝申し上げます。また、ご担当の金丸巖太様にも長時間にわたり丁寧にご対応いただき、重ねて御礼申し上げます。

新たな工法に挑戦される姿勢は、設計業務を生業とする会員の皆様にとっても大いに刺激となり、日頃の業務にお役立て頂けることと思います。

また、長きにわたり業界の発展にご尽力されてこられた会長のご功績が認められ、この度、黄綬褒章ご受章となりましたこととお慶び申し上げます。



エントランスホール グリーンウォール

構造計算適合性判定

電子申請 受付始めました

随時承ります

県内所在唯一の
判定機関

迅速

正確

親切

丁寧

特定非営利活動法人 静岡県建築技術安心支援センター

静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル4階(静岡駅北口より徒歩5分)

TEL 054-275-0030 FAX 054-221-0565

URL:<http://www.skgass.jp/>

除湿型放射冷暖房 PS HR-Cで 省エネ ZEB 庁舎を実現

川上村庁舎 長野県 南佐久郡



庁舎 × 地中熱利用 × ZEB

川上村は高原気候が特徴で、レタスの生産量日本一を誇る自然豊かな長野県南東部の村です。地場産の木材をふんだんに使い、村民に愛着を持ってもらえる新庁舎が完成しました。

建設にあたり、低炭素社会への取り組みとして、環境に優しい建築を目指しました。地中熱ヒートポンプ・太陽光発電システムをはじめとする高効率省エネルギー技術・自然換気を組み合わせた計画の中でそれらと相性の良いピーエスの除湿型放射冷暖房 PS HR-C が採用されました。

建物性能等を併せることで、庁舎は長野県で初となる ZEB-ready を達成し BELS 認証を獲得しています。令和 3 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金「レジリエンス強化型 ZEB 実証事業」を活用しました。



除湿型放射冷暖房 PS HR-C とは...

ラジエータ内に冷温水を循環させ、空間全体を放射と自然対流により、自然な温度変化と、安定した涼しさ・暖かさをつくります。ファンやコンプレッサーなどがなくて風や騒音が発生せず、上下温度差が起きにくいことが特徴です。公共施設のエントランスホールや体育館など大空間にも適した空調方式です。



温度と湿度の専門メーカー ピーエス工業株式会社 T:03-3485-8811/M:info@psk.co.jp

JOB STYLE

ジョブスタイル vol.14

普段、顔を合わせることの多い会員の皆様ですが、会社(事務所)や業務の内容については知らない方が多いのではないのでしょうか。そこで、協会のお仕事内容やプライベートなど、皆さんの気になることを紹介します。

STYLE

36 石橋剛設計事務所

■開設者、事務所のプロフィールを教えてください。

開設者石橋剛さんのプロフィール

1993年	加藤学園暁秀高等学校卒業
1998年	東京工業大学工学部建築学科卒業
2000年	東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻修士課程修了
2000～2009年	デザインアートセンター、石井建築事務所(熱海)等に勤務
2009年	有限会社石橋修建築設計室入社
2015年	合同会社石橋剛設計事務所設立
2023年	有限会社石橋修建築設計室を事業譲受

■業務について教えてください。

伊豆の国市にある設計事務所です。県東部を中心に設計業務を行っております。最近では、環境配慮型の住宅、中大規模の木造建築(幼稚園、地域の集会所、福祉施設等)の案件が比較的多いですが、検査済証の無い建築物の法適合状況調査・検査済証取得や、築50年の軽量鉄骨住宅の減築+エコ改修など、既存ストック活用の仕事にも積極的に取り組んでおります。また、2009年からBIMを導入するなど、設計事務所の生産性向上にもいち早く取り組んできました。

■仕事に対するスタンスについて教えてください。

設計業務において、クライアントの望み(収益性、コスト、趣味、...)に応えるということが、基本になると思いますが、一方で、建築の持つ社会性(コミュニティ、法規、環境、景観、...)についても配慮が求められます。クライアントの望みと社会性を調整しながらより良いものを生み出せればと思います。また、設計者のこだわり(設計の理念)のようなものもあり、それら3つのバランスを常に意識したいと考えています。



石橋剛



塩澤洋史(スタッフ)



児童発達支援センター「きららか」



石橋邸 Photo©ToLoLo studio



田原野区公民館 Photo©ToLoLo studio

Corporate data

石橋剛設計事務所
〒410-2114 静岡県伊豆の国市南條1391-9



綿半ソリューションズ株式会社

静岡事務所 TEL 054-236-1281
静岡市駿河区下島114 蔵敷ビル2F
浜松事務所 TEL 053-431-1231
浜松市中央区西ヶ崎町563

HP



ONLY ONE WALL
-WS COLOR



■開設者、事務所のプロフィールを教えてください。

事務所のプロフィール

大正2年 創業
 平成6年 2月 有限会社大功建設に組織変更
 平成18年 5月 株式会社大功建設に組織変更
 令和2年 7月 代表者の変更
 令和2年 7月 株式会社大功建設一級建築士事務所を開設

開設者大瀧浩司さんのプロフィール

平成3年3月 静岡県立清水東高等学校卒業
 平成7年3月 茨城大学 工学部 都市システム工学科卒業
 平成9年3月 茨城大学大学院 理工学研究科 都市システム工学専攻修了
 同4月～平成18年7月まで 東急建設株式会社に勤務
 平成19年5月 静岡へもどり、株式会社大功建設入社

■業務について教えてください。

木造の戸建て住宅を中心に設計施工しております。外張り断熱専門として20年以上前から現行の省エネ基準以上の住宅を手掛けてきましたので、高い省エネレベルを望まれる方のお役に立てると思います。

戸建て住宅の基本的な住宅仕様は、SGEC森林認証材使用の認定長期優良住宅、許容応力度計算の耐震等級3、 U_a 値 ≤ 0.4 、 BEI ≤ 0.65 、完成時の C 値 ≤ 0.3 としております。外張り断熱のみで設計しておりますが、充填断熱を付加することでより高い省エネレベルへも対応しております。高い性能を維持し、家の資産価値を高めるために、毎年メンテナンスに訪問する体制を整え住宅履歴を整備しております。またお客様に木造住宅の付加価値を高める活動として、お客様と一緒に山に行き、新築時の大黒柱となる木を1本選定してもらい、木こりの補助を受けながらご家族で伐り倒す体験を行っております。

■仕事に対するスタンスについて教えてください。

お客様と「お引き渡しをしてから本当のお付き合いが始まる」と考えておりますので、売れるモノの設計ではなく、安心して暮らせる住まいの設計を心がけております。地元の木材が多く利用されることで地域の環境や経済に与える影響はとて大きいので、非住宅の建物にも積極的に木造化を図り、ドラッグストアやコンビニが木造で建てられることが当たり前になることを願っております。



事務所内観



職員



事例1



事例2



木こり

Corporate data

大功建設一級建築事務所

〒424-0923 静岡県静岡市清水区幸町8-4

《建具工事・ガラス工事》



ワイ・エス販売株式会社

代表取締役社長 宮岡直行

本社／静岡県静岡市葵区長沼2丁目14番34号
 TEL 054-262-6291 FAX 054-262-6289
 支店・営業所／東京・神奈川・静岡東部

【<https://www.ys-h.co.jp/>】

■開設者、事務所のプロフィールを教えてください。

事務所のプロフィール

1985年(昭和60年) 浜松市中央区三方原町にて新田修が創立
 1995年(平成7年) 浜松市浜名区寺島に事務所兼自宅を新築
 2023年(令和5年) 代表 新田哲に交代
 2025年 創業40周年を迎える

開設者新田哲さんのプロフィール

2003年 県立浜松北高等学校
 2006年 福井大学工学部建築建設工学科 建築学コース
 2010年 株式会社 大林組
 2015年 新田建築設計室



集合写真



事務所外観

■業務について教えてください。

浜松市を拠点に、木材を使ったシンプルで美しい木造建築物を目指して建物を作ってきました。省エネや構造も考慮しながらワクワクする面白い空間になるよう計画を行っています。最近では公共事業の設計監理業務も手掛けています。



事務所(磐田市)

■仕事に対するスタンスについて教えてください。

建物の空間にはそれぞれの時の使われ方があります。その時々を考え、長く使い易い価値ある建物を計画します。太陽からの光を取り入れ、風の道を計画します。現場監督・施工図の作成・積算・全体施工計画の立案など建設会社での経験や、空間・構造・省エネや耐久性などの性能設計の経験を活かし、設計→工事→維持保全まで多くの人のアドバイスや経験を取り入れながら、皆様と協力してより良い建物を残していけるように励んでいきます。



10坪の家

Corporate data

新田建築設計室 一級建築士事務所

〒434-0035 浜松市浜名区寺島142-6

TEL 053-585-1396

Web <https://nittaarch.com/>

住宅(浜松市)



住宅(森町)

＝豊かな経験・最新の技術＝

電気工事・通信工事・FA工事・メンテナンス・太陽光発電システム



株式会社シズデン

代表取締役 増田洋健

本社/静岡市駿河区曲金5-17-5 TEL (054) 284-4111 FAX (054) 284-6753

支店/東京・神奈川・東部・中部・西部



防水

安全と安心を
次のステージへ。

Water Proof Shutter

防水シャッター



- 浸水高さ3mまで対応
- 管理用シャッターとしても利用可能
- 防火・防煙タイプもラインアップ (マルチハザード対応)



防火・防煙タイプは「防災防疫製品大賞©2021」※最優秀賞(新製品開発・セット部門)を受賞
※防災安全協会主催

W Tight Door

Wタイトドア



- 浸水高さ3mまで対応
- 防水性と気密・水密性を備えた二重構造
- 津波荷重にも耐える高強度を実現

Million Guard

ミリオンガード



- 浸水高さ490mmまで対応
- 簡単取り付けで工事が不要
- 防水板を取り付けたままで自動ドアの開閉が可能

S Tight Door

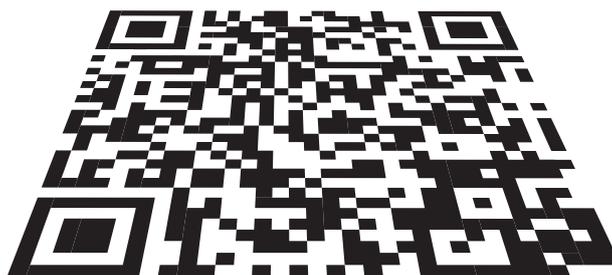
Sタイトドア



- 浸水高さ2mまで対応 (スチール仕様は3mまで対応可能)
- 防水性と防火性を両立
- ドアを閉めるだけで防水性能を発揮

WATER GUARD

— 三和の防水商品 —



防水商品について、詳しくは上記を読み取ってご確認ください。

近年、日本各地で記録的な大雨による浸水や冠水被害が相次いでいます。いつ起こってもおかしくない都市型水害から社会や建物を守るには普段からの備えが重要です。三和シャッターでは、地上はもちろん地下空間まで多彩な防水商品をラインアップ。都市や街の安全と安心を守る私たちの技術は、次のステージへとさらに進化を続けています。

三和グループ 三和シャッター工業株式会社

静岡市場開発課 静岡 054-262-0111 沼津 055-923-2522 浜松 053-422-7500



新年度挨拶

東部支部長 田代 陽介

組織図はこちら >>



日頃より東部支部の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和7年度の新たな年度を迎えるにあたり、私たち東部支部は地域に根ざした活動や会員の皆さまの交流が深まる有意義な活動に努めてまいります。

昨年の能登半島地震以降は災害に対する各自治体の関心が高まり、当協会の「災害時における公共建築物の応急復旧工事の設計等業務に関する協定」についての相談が各市町から多数あり、昨年度は御殿場市と西伊豆町と協定書の締結を行いました。南海トラフ巨大地震の被害想定の見直しや異常気象による自然災害の激甚化が進む中、被災後に迅速な対応が出来るよう今年度も各市町に対して

協定書の締結を働きかけてまいります。会員の皆さまは事前の準備として協力者名簿への登録をお願いいたします。

昨今の建築設計業界の課題は、前述の防災減災以外にもGXやDXへの取組、建設費の高騰への対応など山積しています。このような課題に対して、同じ地域の同じ生業の仲間として情報共有や課題解決に向けた情報提供を行い、さらに情報の和が広がるよう会員拡大にも努めてまいります。

本年度も支部の活動にご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

東部支部全体会議 東部支部協力会・懇親会

日時:令和7年5月21日(水) 場所:沼津リバーサイドホテル

東部支部全体会議が開催されました。

令和度6の事業・収支の報告があり審議、承認されました。

懇親会には本会から金丸会長、荻野専務理事にもお越し頂き、総勢51名の参加がありました。生バンドによる演奏もあり大変盛り上がりました。今年度は会員同士や協力会員と連携を図り有意義な活動に繋がればと思います。



東部全体会議



懇親会 生バンドの演奏

新御殿場図書館 工事現場見学会

令和7年3月14日、東部支部主催の、「新御殿場図書館 構造見学会」が実施されました。東部支部会員のほか、他支部からの参加も含めて約50名が参加しました。見学会はまず座学が実施され、設計や現場担当者による解説が行われました。設計コンセプトや構造的な工夫、施工上の注意点など、専門的な視点からの説明があり、参加者の理解を深める機会となりました。その後、工事現場に移動し、現場監督の案内のもと現地視察を実施。今回の見学では、図面上では把握しづらい構造体や施工プロセスについて、実物を通じて深く学ぶことができました。構造体の見学をできたことは貴重な経験となり、設計や監理の精度向上に直結する内容でした。また、他支部の会員との情報交換や意見共有も活発に行われ、広い視点での知見が得られる有意義な機会となった。



現場見学



座学



株式会社 蒼 設 計

代表取締役 立 道 浩 幸

本 社 静岡県御殿場市茱萸沢1077番地 TEL <0550> 89-8118 FAX <0550> 89-8778
 三島営業所 静岡県三島市萩720-12 TEL <055> 941-5911 FAX <055> 941-5916
 U R L http://www.kkaoi.jp

新年度挨拶

中部支部長 佐藤 信行

組織図はこちら》



拝啓 新緑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、静岡県建築士事務所協会 中部支部長を二年目も務めさせていただくこととなりました。改めて、その重責を噛みしめつつ、引き続き皆様と共に歩んでまいりたいと存じます。

昨年度は、コロナ禍を乗り越えた後の新たな活動の形を模索しながら、多くの事業を進めてまいりました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

建築業界を取り巻く環境は、急速に変化しています。人手不足や技術者の高齢化、設計業務のデジタル化・BIMの活用、さらには脱炭素社会への対応や法制度の改正など、私たちの業務はますます多

様で高度な対応を求められるようになってきました。こうした流れの中で、会員の皆様が実務の中で抱える課題を共有し合い、支え合える場として、支部の役割は一層重要になると感じています。

本年度も、現場の声を大切にしながら、支部活動を活性化させてまいりますので、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中部支部 春の全体会議

令和7年5月13日火曜日に中部支部春の全体会議を開催させていただきました。

90名の会員の方々にご参加いただきました。数年ぶりの対面での開催となり、久しぶりに活気のある会議になりました。

メンバーの皆様には、前年度の報告、今年度の計画についてしっかりと確認をしていただけたと思います。

懇親会も大勢の方に参加していただき、短い時間でしたが、盛り上がった懇親会でした。

今年度、始まったばかりです。中部支部の活動を1年間皆さんで盛り上げていきましょう。

1年間よろしくお祈いします。



全体会議の様子



佐藤支部長挨拶



受付風景
業務委員会の皆様お疲れ様でした。



事業報告の様子



ご出席いただいた皆様



株式会社 稲葉商店

100年の歴史と先進のテクノロジー。

いま、さらなる未来へ。

■セメント・生コン建材部 / 静岡市葵区長沼971-1

TEL <054> 262-2261 Fax <054> 262-2331

◇販売

セメント・生コンクリート

建築・土木資材

◇工事

杭・地盤補強工事

屋根・外装工事・各種リフォーム工事



新年度挨拶

西部支部長 中尾 有希子

組織図はこちら



令和2年4月より西部支部長を務めさせていただいております、渡辺建築設計事務所の中尾でございます。

支部長を仰せつかってから、通算すると6年目となりますので、今までの経験を踏まえ、ご理解ご協力してくださっている会員の皆様にも少しもお役にたてる一年にしていこうと思っております。

昨年度は、活発な支部活動により、多くの皆様とお会いする機会に恵まれました。

本年度も引き続き、皆様と一緒に支部の事業に取り組んでいきたいと思っております。

今年度は、研修見学会で大阪関西万博へ行くことが既に決まっております。この研修見学会では、東部・中部の皆様との交流も行われることが計画されており、いつもは西部支部の中での交流がほとんどなのですが、静岡県全域での交流が図れるというのは、貴重な経験になると思っております。これからも、会員の皆様に喜んでもらえる事業を行っていきたくて思っております。そして、それが会員維持、会員増強に繋がると信じております。

研修見学会の他にも、事業の計画を立て始めておりますので、事業のお知らせが届きましたら、是非、参加してください。今後も皆様のご意見を聞きながら、役員一同、頑張っております。

西部支部の正会員・協力会員の皆様、本年度も変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。

西部支部全体会議・懇親会

令和7年5月9日(金)、令和7年度(一社)静岡県建築士事務所協会西部支部全体会議、春の親睦会が開催されました。

全体会議は正会員39名、協力会18名の出席でした。

中尾支部長、鈴木新協力会会長、金丸会長の挨拶と、各担当副支部長から令和6年度の事業報告と令和7年度の事業計画の説明がありました。

親睦会は、正会員42名、協力会22名の出席でした。

年々参加者が増加して活性化されています。

新たに正会員2社、協力会2社も増え、新入会員紹介がありました。

歓談と、協力会の協賛によるアトラクションもあり、2時間がとても短く感じました。



全体会議支部長挨拶



鈴木協力会新会長挨拶



親睦会司会 中村委員長



懇親会支部長挨拶



金丸会長挨拶



飯尾本会理事による乾杯



全体会議の様子



全体会司会 中村副支部長



新入会員挨拶



竹下副支部長による中締め

建設現場を言葉で照らす。

=D7 DAINANA

電気設備・空調設備・太陽光発電設備

株式会社ダイナナ

〒411-0816 静岡県三島市梅名 371-2

Tel. 055-977-3511 Fax. 055-977-7329

<http://www.dainana.co.jp>

祝 令和7年度春の褒章【黄綬褒章受章】について

この度、令和7年度春の褒章で、当会会員2名が『黄綬褒章』を受章されました。
 『黄綬褒章』は「農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方」に授与（今年度47名）され、当会会長 金丸智昭氏は、建築設計監理業として、鈴木文三氏は、消防設備保守業としての受章となります。
 金丸智昭様・鈴木文三様、おめでとうございます。



黄綬褒章受章

- 一般社団法人 静岡県建築士事務所協会
 会長 金丸智昭氏 (株)金丸建築設計事務所 代表取締役
- 中部 協会員 鈴木文三氏 (サンコー防災(株) 代表取締役)

西伊豆町との「災害に関する協定」を締結しました

令和7年2月28日、(一社)静岡県建築士事務所協会と西伊豆町は、公共施設の機能確保を図るため、災害復旧を速やかに行えるようにすることを目的とした「災害時等における公共建築物の応急復旧工事の設計等業務に関する協定」を締結しました。

当協会としては、静岡県教育委員会・富士市・菊川市・掛川市・湖西市・御殿場市・西伊豆町の7団体目の協定締結です。又、他の市町とも協定締結に向けた協議を進めております。

この協定は、締結先の行政機関が所管する建築物が大規模災害により被災した場合、復旧に必要な調査・設計等業務を、「協力者」として登録された協会員事務所へ、随意契約することを主な内容とし、「協力者」は有償の委託業務として、建築物被災状況調査、復旧補修設計等を行うこととなります。

県内での広範囲な大規模災害に対応するためにも、多くの会員方々が協定の趣旨に賛同し、「協力者」として、各々の申出による事前の登録をすることが必要となります。



令和7年度 第1回ゴルフコンペ(金丸智昭氏黄綬褒章受章記念コンペ)

7月2日(水)に、菊川市のホロンゴルフクラブにて、多くの会員の皆様にご参加頂き、開催されました。



(株)ダイムワカイ
 畑 功男 様



● 優勝者コメント

初参加で優勝させて頂きました。
 良きメンバーに恵まれ、ハンディキャップに恵まれ、
 金丸会長の祝賀コンペで優勝できたことは光栄に思います。



編集後記

改正省エネ法が2025年4月に施行されたことにより適合義務の対象が拡大され、少なからず皆様の業務にも影響があるのではないのでしょうか。

2030年に目指すとされている新築住宅・建築物のZEH・ZEB水準、2050年にはカーボンニュートラル社会実現に向けて、建築設計においても建物の省エネ化は避けて通れない課題となっています。

日頃からZEB普及に向けての講演活動などを行う中で、意識が高まっていることは感じますが、具体的に何をすればよいかが見えてきていないと感じています。

私たち静岡県建築士事務所協会としても、何かお役に立てる事が無いかを模索して参ります。

広報・渉外委員会副委員長(西部支部) 中村圭介

広報・渉外委員会

- 担当副会長 立道 浩 幸
- 委員長 齊藤 滋 史 (中部)
- 副委員長 中村 圭介 (西部)

- 委員 眞鍋 純一 (東部)
- 委員 八木 正憲 (東部)
- 委員 塚本 章博 (中部)
- 委員 永田 章人 (中部)
- 委員 松下 茂 (西部)

SHIZUGAS

静岡ガスグループ

NICE WEB 申請システムによる電子申請をご利用ください

電子申請

建築基準法(確認・検査)、適合証明(設計・現場)の電子申請は、**2024年1月より、センター全事務所・支所**でお受けしております。ご申請の際、申請先にお近くの事務所・支所をお選びください。



24時間365日
申請可能

来所不要で
時間短縮

電子データで
本申請

インターネットで
進捗状況確認

ご利用にあたって

01 NICE WEB 申請システムへの利用登録が必要です。

NICE WEB 申請システムのご利用には、専用のログイン ID が必要です。利用申込み後、当センターにて、お客様のログイン ID を発行いたします。

02 電子申請のお支払い方法は、月締め支払(銀行振込)のみです。

現在、月締め支払でないお客様はシステムご利用前に月締め支払のお手続き(覚書締結など)が必要です。手続き完了まで2週間程度掛かりますので、お早めにお申込みください。

一般財団法人 静岡県建築住宅まちづくりセンター

【お問い合わせ】企画・営業部 ☎ 054-202-5540 ✉ eigyou@shizuoka-kjm.or.jp

▼ 詳しくはこちら ▼

静岡 まちせん 検索

